

金融機関の選び方 ~新しい投資サービスの活用も~

株式会社Money & You
代表取締役 頼藤太希

- 1 金融機関の選び方
- 2 つみたてNISAの活用
- 3 新しい投資サービスの活用



1

金融機関の選び方

2

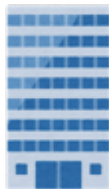
つみたてNISAの活用

3

新しい投資サービスの活用



口座を開設できる場所は複数ある

	銀行 	店舗型証券 	ネット証券 
商品の 幅広さ	△ 投信のみ	◎ 株と投信の 取扱い	◎ 株と投信の取扱い 海外株の取扱い も豊富
投信の 取扱本数	△ 少ない	○ ネット証券に 比べると少ない	◎ 多い
コスト	△ 高い	△ ネット証券に 比べると高い	◎ 安い
説明を聞く	○ 店舗で投信の 説明が聞ける	◎ 店舗で株や投信 の説明が聞ける	△ 店舗がないため 相対で説明を 受けられない

同じ投資信託でも「買う場所」で差が出る！

スタート金額



買うとき

手数料
無料
(-0円)

ネット証券



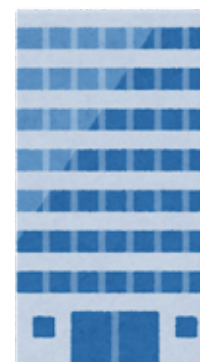
スタート金額



買うとき

手数料
2%
(-2万円)

店舗型証券



投資信託
100万円

ネット証券でも株式手数料に差がある

1注文毎の約定代金に応じた手数料（現物取引）

	10万円	20万円	30万円	50万円	100万円	200万円	300万円
日産証券	¥22	¥50	¥80	¥80	¥150	¥320	¥500
むさし証券	¥75	¥95	¥175	¥175	¥320	¥440	¥440
ライブスター証券	¥80	¥97	¥180	¥180	¥340	¥600	¥600
GMOクリック証券	¥88	¥98	¥241	¥241	¥436	¥834	¥834
SBI証券	¥90	¥105	¥250	¥250	¥487	¥921	¥921
楽天証券	¥90	¥105	¥250	¥250	¥487	¥921	¥921
カブドットコム証券	¥90	¥180	¥250	¥250	¥990	¥1,890	¥2,790
岡三オンライン証券	¥99	¥200	¥350	¥350	¥600	¥1,500	¥1,500
マネックス証券	¥100	¥180	¥250	¥450	¥1,500	¥3,000	¥4,500
松井証券	1約定ごとのプランなし						

（2019年10月20日現在、税抜き）

1日の約定代金合計額に応じた手数料（現物取引）

	10万円	20万円	30万円	50万円	100万円
岡三オンライン証券	¥0	¥0	¥350	¥500	¥800
SBI証券	¥0	¥191	¥286	¥429	¥762
楽天証券	¥0	¥191	¥286	¥429	¥858
松井証券	¥0	¥300	¥300	¥500	¥1,000
GMOクリック証券	¥213	¥213	¥278	¥399	¥797
ライブスター証券	¥400	¥400	¥400	¥400	¥600
むさし証券	¥1,200	¥1,200	¥1,200	¥1,200	¥1,200
マネックス証券	¥2,500	¥2,500	¥2,500	¥2,500	¥2,500
カブドットコム証券	1日定額プランなし				
日産証券	1日定額プランなし				

（2019年10月20日現在、税抜き）



手数料だけでなく、
 ・ 投信の取扱本数
 ・ 提供ツール
 ・ 各種サービス
 など各社で異なります。

自分にあった金融機関選びのポイント

1 株式・投資信託の手数料は安いかな

2 商品のラインナップは幅広いかな

3 便利なツールを提供しているかな

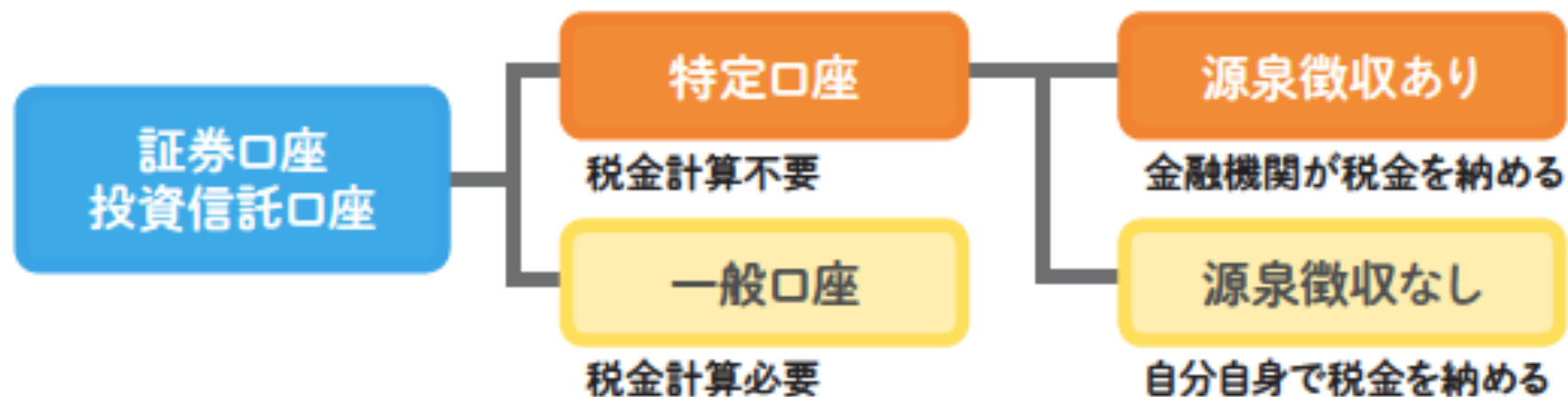
4 サービスが良いかな

- ・店頭相談できるかな
- ・ホームページがわかりやすい、FAQが充実しているかな
- ・コールセンターの対応が良いか、対応時間が長いかな
- ・ポイントプログラムがあるかな
- ・スイープサービス(銀行口座連携)が充実しているかな など



口座の種類、どれを選ぶべき？

- 証券会社では「証券口座」、銀行では「投資信託口座」という名称です。



特定口座の源泉徴収ありを選ぶと
手間いらず！
一般口座を選んでもメリットはない

1

金融機関の選び方

2

つみたてNISAの活用

3

新しい投資サービスの活用



つみたてNISA創設の考え

金融庁の「家計の安定的な資産形成に関する有識者会議」によると以下の3つの投資に対する考え方をもとに決定！



- 1 分散投資 (投資対象の分散と投資時期分散)により、中長期的に安定的にリターンの実現が可能になる
- 2 投資対象をグローバルに分散させることで、世界経済の成長の果実を享受することが可能になる
- 3 投資時期の分散 (積立投資)により、高値掴み等のリスクを軽減し、リターンの安定化が可能になる

つみたてNISAの仕組み

	一般NISA	つみたてNISA
注意事項	選択制・併用不可	
対象者	日本に住む20歳以上の人	
新規に投資できる期間	10年間（2014年～2023年）	20年間（2018年～2037年）
非課税保有期間	投資した年から最長5年間 (ロールオーバーを利用して最大10年間)	投資した年から最長20年間
年間投資上限額	120万円 (2015年分までは年100万円)	40万円
最大非課税投資額	600万円	800万円 (2019年から始めた場合760万円)
投資対象商品	上場株式(ETF、REIT含む)、ETF、 公募株式投資信託等	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託 (要件：信託期間が無期限または20年以上、毎月分配型でないこと)
投資方法	投資上限額内の一括買付、積立も可	定期かつ継続的方法による積立

分配金、売却益の税金

運用中の利益
(分配金)

売却益



「運用益」が非課税



効率よくお金を増やせる

つみたてNISAの対象商品の主要要件

対象			購入時 手数料	信託 報酬	その他の要件
公募株式 投資信託	パッシブ型 (インデックス型)	国内資産	ノーロード (解約手数料ゼロ)	0.50% 以下	
		海外資産		0.75% 以下	
	アクティブ型	国内資産		1.00% 以下	・純資産額50億円以上 ・信託開始5年経過 ・信託期間の2/3で資金流入超
		海外資産		1.50% 以下	
上場投資 信託(ETF)	国内ETF		1.25%以下 (口座管理料ゼロ)	0.25% 以下	・円滑な流通のための措置が 講じられているとして取引所 が指定するもの ・最低取引単位1000円以下 (るいとう)
	海外ETF				・資産残高1兆円以上 ・最低投資単位1000円以下

※基本要件

信託期間が無期限もしくは20年以上であること、毎月分配型ではないこと、複数の銘柄の有価証券や複数の種類の特定資産に分散されていること等、長期分散投資に適した株式投資信託に限定。金融庁への届出制。

つみたてNISA対象商品の数

- 対象商品は厳しい基準をクリアした173本

※公募投信全体で約6000本あります



インデックス投資信託 148本



アクティブ投資信託 18本



上場投資信託（ETF） 7本

※2019年10月1日現在

出典元：金融庁のホームページ
<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>

学んだこと
活用したいサービス・
アプリを
共有してください

本資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。

本資料は、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。また、資料転売、再配布はご遠慮下さい。